

243. 宇津木久仁子、竹島信宏、他:「子宮頸癌～広汎子宮全摘出術～」産婦人科の実際, 2012, 61(3):317-322.
244. 的田眞紀、竹島信宏、他:「反復照射後に根治手術を行った外陰癌の1例」日産婦東京地方部会誌, 2012, 61(1):16-18.
245. 的田眞紀、竹島信宏:「子宮頸癌の治療:術後化学療法」日本臨床, 2012, 70(4):251-254.
246. 宇津木久仁子、竹島信宏、他:「婦人科がん手術と合併症」日本臨床, 2012, 70(4):771-776.
247. 潮田至央、竹島信宏、他:「原発性卵巣癌との鑑別が困難であった肺癌卵巣転移の1例」日産婦東京地方部会誌, 2012, 61(3):429-433.
248. 山本嘉一郎:「深部静脈血栓症の診断」臨床婦人科産科 2011, 65(2):130-135.
249. 山本嘉一郎:「子宮頸癌の化学療法 update」産婦人科の進歩. 2011, 63(1):60-66.
250. 山本嘉一郎:「進行・再発婦人科がんの治療と管理4. 肺転移」産科と婦人科 2011, 78(5):549-552.
251. 山本嘉一郎:「子宮頸癌の化学療法の現状」産婦人科治療. 2011, 103(4):435-442.
252. 山本嘉一郎:「婦人科癌治療と漢方」産婦人科治療, 2011, 103(5):526-530.
253. 山本嘉一郎:婦人科がん-最新の研究動向-子宮頸がん「術前化学療法」日本臨床社, 2012, 6(増刊号):246-250.
254. Yamaguchi S, Yaegashi N, Hiura M, Yamamoto K, et al. Phase II study of neoadjuvant chemotherapy with irinotecan hydrochloride and nedaplatin followed by radical hysterectomy for bulky stageIb2 to IIb, cervical squamous cell carcinoma: Japanese Gynecologic Oncology Group study(JGOG1065). Oncol Rep, 2012, 28(2):487-493.
255. Takao T, Seki H, et al. Isolation and characterization of human trophoblast side-population (SP) cells in primary villous cytotrophoblasts and HTR-8/SVneo cell line. PLoS One, 2011, 6(7):e21990.
256. Fukushima K, Seki H, et al. Effect of transient TCDD exposure on immortalized human trophoblast-derived cell line, Hum Exp Toxicol, 2012, 31(6):550-556.
257. 村山敬彦、関博之、他:「子宮内感染症と流早産」産科と婦人科, 2011, 78(4):475-484.
258. 関博之、他:著書「高血圧ナビゲーター」熊谷裕生 小室一成 堀内正嗣 森下竜一編集:メジカルビュー社, 2011年6月10日
259. 鮫島浩輝、関博之、他:「腸間膜牽引症候群により術中ショックを来した1例」埼玉産婦人科学会雑誌 2011. 41:55-57.
260. 関博之:「胎児心拍数モニタリング 胎児心拍数波形の実例と判読の演習」臨床婦人科産科, 2011, 65(1):45-51.
261. 関博之:「妊婦・授乳婦の降圧薬の使いかた」臨床と研究, 2011, 88(2):216-221
262. 村山敬彦、関博之、他:「子宮内感染症と流早産」産科と婦人科, 2011, 78(4):475-484
263. 関博之:「-ここまでできる経陰分娩-妊娠高血圧症候群」周産期医学, 2011, 41(7):937-940.
264. 関博之:「胎内感染のリスクと対策 風疹」臨床婦人科産, 2011, 65(8):997-999.
265. Yoshihara K, Nogawa T, Takano M, Seki H, et al. High-risk ovarian cancer based on 126-gene expression signature is uniquely characterized by down-regulation of antigen presentation pathway. Clin Cancer Res, 2012, 18(5):2011, 122(2):1374-1385.
266. Togami S, Onda T, Kasamatsu T, et al.

- Clinicopathological and prognostic impact of human epidermal growth factor receptor type 2 (HER2) and hormone receptor expression in uterine papillary serous carcinoma. *Cancer Sci*, 2012, 103(5):926-932
267. Uehara T, Onda T, Kasamatsu T, et al. Prognostic impact of the history of breast cancer and of hormone therapy in uterine carcinosarcoma. *Int J Gynecol Cancer*, 2012, 22(2): 280-285.
268. Ikeda S, Onda T, Kasamatsu T, et al. Combination of squamous cell carcinoma-antigen, carcinoembryonic antigen, and carbohydrate antigen 19-9 predicts positive pelvic lymph nodes and parametrial involvement in early stage squamous cell carcinoma of the uterine cervix. *J Obstet Gynaecol Res*, 2012, 38(10): 1260-1265.
269. Kuroda Y, Katsumata N, Kasamatsu T, et al. Impact of concurrent chemotherapy on definitive radiotherapy for women with FIGO IIIb cervical cancer. *J Radiat Res*, 2012, 53(4): 588-593.
2. 学会発表
1. 道上大雄、岡田智志、吉川裕之、他.: 「再発卵巣癌に対し Bevacizumab を使用し大量腹水の消失を認めた 1 例」第 120 回日本産科婦人科学会関東連合地方部会、2010 年 11 月 28 日、つくば.
2. 沖 明典、岡田智志、吉川裕之、他.: 「化学療法で完全寛解(CR)した進行卵巣癌由来細胞株からの単細胞クローン株の樹立」第 62 回日本産科婦人科学会学術講演会、2010 年 4 月 23 日-25 日、東京.
3. 道上大雄、岡田智志、吉川裕之、他.: 「カルボプラチンに過敏反応を示した患者におけるネダプラチン投与の有用性」第 62 回日本産科婦人科学会学術講演会 4 月 23 日-25 日. 2010. 東京
4. 櫻井 学、岡田智志、吉川裕之、他.: 「婦人科癌治療前の静脈血栓塞栓症(VTE)に対応した場合の術後 VTE の発症」第 62 回日本産科婦人科学会学術講演会、4 月 23 日-25 日. 2010. 東京
5. 吉川裕之: 「卵巣がんにおける Neoadjuvant Chemotherapy について」第 3 回城南・多摩婦人科腫瘍講演会 6 月 18 日. 2010. 東京
6. 佐藤豊実、岡田智志、吉川裕之、他.: 「婦人科がん術後 VTE 予防のための術前不顕性 VTE 検出・対応の有効性と限界」第 48 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会、7 月 8 日-10 日. 2010、つくば.
7. 吉川裕之: 教育セッション「子宮がん・卵巣がん」第 48 回日本癌治療学会学術集会、10 月 28 日-30 日. 2010、京都.
8. Shimada M, Yaegashi N, Yoshikawa H, Ochiai K, et al. Supportive care for hand-foot syndrome and stomatitis in relapsed ovarian cancer patients receiving pegylated liposomal doxorubicin. 47th ASCO Annual Meeting. June 3-7, 2011. CHICAGO
9. 田中勝洋、岡田智志、吉川裕之、他.: 「子宮頸がん、体がん、卵巣がん、の術前静脈血栓塞栓症(VTE)の頻度と危険因子の比較」第 50 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 7 月 22 日-24 日. 2011. 札幌.
10. 前山哲朗、岡田智志、吉川裕之、他.: 「婦人科癌治療前 VTE への対応と術後低分子量ヘパリン(LMWH)長期間投与による症候性 VTE の予防効果」第 50 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 7 月 22 日-24 日. 2011. 札幌.
11. 北西あすか、吉川裕之、他.: 「卵巣がん合併妊娠 37 例の検討」第 50 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 7 月 22 日-24 日. 2011. 札幌.
12. 小貫麻美子、岡田智志、吉川裕之、他.: 「婦人科癌の再発: 頸癌・体癌・卵巣癌での比較」第 63 回日本産科婦人科学会・総会・学術講演会 8 月 29 日-30 日、2011. 大阪.

13. 安倍 梓、岡田智志、吉川裕之、他：「卵巣明細胞腺癌における PIK3CA 発現量の予後との相関」第 63 回日本産科婦人科学会・総会・学術講演会 8 月 29 日-30 日、2011. 大阪.
14. 島田宗昭、八重樫伸生、日浦昌道、吉川裕之、落合和徳、他：「再発卵巣癌に対するリポソーマルドキソルビシン単剤療法における手足症候群および口内炎予防のためのサポータイブケアに関する多施設共同研究」第 63 回日本産科婦人科学会・総会・学術講演会、8 月 29 日-30 日、2011. 大阪.
15. 田阪暢崇、岡田智志、吉川裕之、他：「ジェノゲストが奏功したダグラス窩腺肉腫の 1 例」第 63 回日本産科婦人科学会・総会・学術講演会、8 月 29 日-30 日、2011. 大阪.
16. 道上大雄、岡田智志、吉川裕之、他：「治療前 VTE への対策と術後低分子量ヘパリン (LMWH) 長期間投与による症候性 VTE の予防効果」第 64 回日本産科婦人科学会学術講演会、4 月 13 日-15 日、2012. 神戸
17. 志鎌あゆみ、岡田智志、吉川裕之、他：「腫瘍崩壊症候群を呈した卵巣癌 IV 期の一症例」第 64 回日本産科婦人科学会学術講演会 4 月 13 日-15 日、2012. 神戸
18. 櫻井 学、岡田智志、吉川裕之、他：「Tissue factor は卵巣明細胞腺癌患者の静脈血栓塞栓症発症因子である」第 64 回日本産科婦人科学会学術講演会 4 月 13 日-15 日、2012. 神戸
19. 岡田智志、吉川裕之、他：「再発上皮卵巣癌に対する維持化学療法の意義」第 64 回日本産科婦人科学会学術講演会、4 月 13 日-15 日、2012. 神戸
20. 安倍 梓、岡田智志、吉川裕之、他：「PIK3CA 蛋白の高発現は卵巣明細胞腺癌の良好な予後と相関する」第 64 回日本産科婦人科学会学術講演会、4 月 13 日-15 日、2012. 神戸.
21. 佐藤豊実、吉川裕之：ワークショップ「若年卵巣癌の妊孕性温存治療」第 52 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会、7 月 19 日-21 日、2012. 東京.
22. 道上大雄、吉川裕之、他：「深部静脈血栓症の抗凝固療法中にヘパリン起因性血小板減少症 (HIT) を合併した再発卵巣癌の一例」第 52 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会、7 月 19 日-21 日、2012. 東京.
23. 新 夏樹、吉川裕之、他：「卵巣がん化学療法後の急性骨髄性白血病、骨髄異型性発症の検討」第 52 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会、7 月 19 日-21 日、2012. 東京.
24. 芝奈津子、恩田貴志、笠松高弘、他：「子宮頸部小細胞癌の MRI 所見および病理所見の対比検討」第 69 回日本医学放射線学会 2010 年 4 月、横浜.
25. 恩田貴志：「進行卵巣癌に対する術前化学療法」第 48 回日本婦人科腫瘍学会、2010 年 7 月、つくば.
26. 澤田守男、笠松高弘、恩田貴志、勝俣範之、他：「進行子宮頸がんに対する同時化学放射線療法の後方視的検討」第 63 回日本産科婦人科学会、2011. 8 月 29-31 日、大阪.
27. 戸上真一、笠松高弘、恩田貴志、他：「子宮頸部漿液性腺癌 12 症例の臨床病理学的検討」第 50 回日本婦人科腫瘍学会 2011. 7 月 22-24 日、北海道.
28. 吉田正行、恩田貴志、他：「卵巣成熟奇形腫甲状腺組織に接して認められた上皮性腫瘍」第 50 回日本婦人科腫瘍学会、2011. 7 月 22-24 日、北海道.
29. 恩田貴志。「再発卵巣がん治療 (手術療法) について」第 122 回日本産科婦人科学会関東連合地方部会、2011. 10 月 30 日、神奈川.
30. Kasamatsu T, Onda T, et al. Prognostic significance of positive peritoneal cytology in adenocarcinoma of the uterine cervix. 14th Biennial Meeting of International Gynecologic Cancer Society, 2012, Vancouver, Canada.
31. Mikami M, Onda T, et al. Predicting paraaortic node (PAN) recurrence of cervical cancer after radical

- hysterectomy (RH): Indications for treatment of PAN after RH. 14th Biennial Meeting of International Gynecologic Cancer Society, 13-16 October 2012. Vancouver, Canada.
32. 恩田貴志. クリニカルディベート「進行上皮性卵巣癌に対する治療」一次腫瘍減量手術 vs ネオアジュヴァント化学療法 ネオアジュヴァント化学療法. 第64回日本産科婦人科学会、2012年4月、神戸.
  33. 恩田貴志:「シンポジウム III/IV 期進行卵巣がんに対する治療戦略-III/IV 期進行卵巣がんに対する治療戦略-」第52回日本婦人科腫瘍学会、2012年7月、東京.
  34. 戸上真一、恩田貴志、笠松高弘、他:「子宮体部漿液性腺癌における HER2、HR の予後因子としての検討」第52回日本婦人科腫瘍学会、2012年7月、東京.
  35. 新部 譲、恩田貴志、他:「局所進行子宮頸癌に対する nedaplatin を用いた化学放射線同時併用療法の第 II 相試験(KGROG0501)」第52回日本婦人科腫瘍学会、2012年7月、東京.
  36. 三上幹男、恩田貴志、他:「子宮頸部腺がんに対する治療戦略 子宮頸部腺がん I-II 期手術例の検討 扁平上皮がんとの違い・術後補助療法は?」第52回日本婦人科腫瘍学会、2012年7月、東京.
  37. 恩田貴志. ワークショップ「NAC 治療に関する話題」卵巣癌の NAC について、第13回 JSAWI、2012年9月、淡路島.
  38. 恩田貴志. 症例検討パネルディスカッション 06「症例 (婦人科がん)」手術、第50回日本癌治療学会、2012年10月、横浜.
  39. 新部 譲、恩田貴志、他:「局所進行子宮頸癌に対する nedaplatin を用いた化学放射線同時併用療法の第 II 相試験」第50回日本癌治療学会、2012年10月、横浜.
  40. 小野重満、恩田貴志、他:「当院で経験した子宮頸部小細胞癌の細胞像の検討」第51回日本臨床細胞学会、2012年11月、新潟.
  41. 松本光史、他:「IV ナースと腫瘍内科医の協働による外来化学療法時の過敏性反応の早期発見、早期治療体制 - 6 年間 190 件のレポート分析より -」第9回日本臨床腫瘍学会学術集会 2011年7月21-23日. 横浜.
  42. Tanioka M, Matsumoto K, et al. Nuclear IGF-1R expression as a prognostic factor in cervical cancer patients. 第9回日本臨床腫瘍学会学術集会 2011年7月21-23日. 横浜.
  43. Kitao A, Matsumoto K, et al. Neoadjuvant Chemotherapy in ovarian or primary peritoneal cancer patients with hyperamylasemia. 第9回日本臨床腫瘍学会学術集会 2011年7月21-23日. 横浜.
  44. Onoe T, Matsumoto K, et al. The safety of combination chemotherapy utilizing doxorubicin for sarcoma in adults. 第9回日本臨床腫瘍学会学術集会 2011年7月21-23日. 横浜.
  45. 松本光史:「卵巣がん第 III 相試験のエンドポイント II 相試験のエンドポイント」第49回日本癌治療学会学術集会 2011年10月27-29日. 名古屋.
  46. 広利浩一、松本光史、他:「乳癌骨転移症例における Bisphosphonate 製剤長期投与中止後の尿中 NTx 測定の意義」第49回日本癌治療学会学術集会、2011年10月27-29日. 名古屋.
  47. 松本光史、他:「プラチナ感受性再発卵巣癌に対するシスプラチン+ドセタキセル併用療法」第49回日本癌治療学会学術集会 2011年10月27-29日. 名古屋.
  48. 高尾信太郎、松本光史、他:「Luminal type 乳癌に対する術前化学療法の効果と今後の治療戦略」第49回日本癌治療学会学術集会 2011年10月27-29日. 名古屋.
  49. 北尾章人、松本光史、他:「外来化学療法患者の発熱時セルフアセスメント

- 導入とその安全性の検討」第 10 回日本臨床腫瘍学会学術集会, 2012 年 7 月 26 日-28 日, 大阪市.
50. 谷岡真樹、松本光史、他:「HER2 陽性ホルモン陽性(HR+)乳癌における術前化学療法後病理学的完全寛解(pCR)の臨床的意義と今後の治療戦略」第 10 回日本臨床腫瘍学会学術集会, 2012 年 7 月 26 日-28 日, 大阪市.
  51. 松本光史、他:「卵巣癌に対する dose-dense TC 療法施行時の治療前血清クレアチニン値と血液毒性の関連について、2 年間 61 名の検討」第 10 回日本臨床腫瘍学会学術集会, 2012 年 7 月 26 日-28 日, 大阪市.
  52. 松本光史:Gynecologic Cancer: Topics for medical treatment for ovarian cancer 2012 婦人科癌: 卵巣がん薬物療法のトピック」第 10 回日本臨床腫瘍学会学術集会, 2012 年 7 月 26 日-28 日, 大阪市.
  53. 松本光史:「婦人科外来化学療法における有害事象のトータルケア」第 52 回日本婦人科腫瘍学会学術集会, 2012 年 7 月 19 日-21 日. 東京
  54. 松本光史、他:「dose-dense TC 療法における治療前血清クレアチニン値と血液毒性由来の延期・減量・中止との関係」第 52 回日本婦人科腫瘍学会学術集会, 2012 年 7 月 19 日-21 日. 東京
  55. 谷岡真樹、松本光史、他:「Ib2-IIb 期子宮頸癌に対する周術期 Cis-Platin と Dose dense Paclitaxel(dose dense TP)の第 I/II 相試験」第 52 回日本婦人科腫瘍学会学術集会, 2012 年 7 月 19 日-21 日. 東京
  56. Matsumoto K, et al. Correlative study of low serum creatinine and hematological toxicities in Japanese patients with ovarian cancer treated by dose dense TC therapy. Medical Oncology Division, Hyogo Cancer Center, Akashi, Japan 2012 ASCO Annual Meeting, Chicago, Illinois. June 1-5, 2012.
  57. 松本光史、他:「卵巣癌に対する dose-dense TC 療法での血液毒性と、治療前血清クレアチニン値との相関」第 50 回日本癌治療学会学術集会, 2012 年 10 月 25 日-27 日, 横浜.
  58. 谷岡真樹、松本光史、他:「子宮頸癌における予後因子としての核内 IGF-1R 発現」第 50 回日本癌治療学会学術集会, 2012 年 10 月 25 日-27 日, 横浜.
  59. 松本光史:「乳癌及び婦人科癌に対する化学療法と支持療法」第 50 回日本癌治療学会学術集会, 2012 年 10 月 25 日-27 日, 横浜.
  60. 高尾信太郎、松本光史、他:「術前化学療法を施行した HER2 陽性乳癌患者に対する術後 Trastuzumab の有効性の検討」第 20 回日本乳癌学会学術総会, 2012 年 6 月 28 日- 30 日, 熊本.
  61. 重岡 靖、松本光史、他:「乳癌患者における BMI の予後への影響の検討」第 20 回日本乳癌学会学術総会, 2012 年 6 月 28 日- 30 日, 熊本.
  62. 三木万由子、松本光史、他:「当院における進行再発乳癌患者に対するエリブリンメシル酸塩の効果の検討」第 20 回日本乳癌学会学術総会, 2012 年 6 月 28 日- 30 日, 熊本.
  63. 橋本知久、松本光史、他:「乳癌術前化学療法の治療効果判定における dynamicMRI 早期相の MIP 像による栄養血管評価の有用性の検討」第 20 回日本乳癌学会学術総会, 2012 年 6 月 28 日- 30 日, 熊本.
  64. 松本光史、他:「HBOC 疑いとなり得る患者の頻度 -8 年間 1562 件の手術データベースからの検討-」第 20 回日本乳癌学会学術総会, 2012 年 6 月 28 日- 30 日, 熊本.
  65. 佐久間淑子、松本光史、他:「術前化学療法にて cCR と判定された乳癌切除検体に対する病理組織学的評価についての検討」第 20 回日本乳癌学会学術総会 2012 年 6 月 28 日-6 月 30 日, 熊本
  66. Ushijima K, Kobayashi H, Kamura T, et al. Phase II trial of bi-weekly docetaxel and monthly carboplatin in the treatment of platinum

- sensitive recurrent ovarian or tubal cancer (WJGOG 041). The 13rd Biennial meeting of the International Gynecologic Cancer Society (IGCS2010), October. 23-26, 2010, Prague.
67. Kamura T: The 12nd Asian Oceanic Congress of Obstetrics and Gynecology (AOCOG), Molecular prognostic factor in cervical cancer. September 23 - 27, 2011, Taipei, Taiwan
  68. Nishio S, Kamura T, et al. The 36th The European Multidisciplinary Cancer Congress (ESMO), Nuclear Y-box binding protein-1 expression, a predictive marker of prognosis is correlated with activated signal transducer and activator of transcription-3 expression and survival in cancer squamous - cell carcinoma, September 25-30, 2011, Stockholm, Sweden
  69. Kawano K, Kamura T, et al. The 2nd Asian Society of Gynecologic Oncology (ASGO), Clinical trial of personalized peptide vaccination in recurrent ovarian cancer, November 3-5, 2011, Seoul, KOREA
  70. Nishio S, Kasamatsu T, Kamura T, et al. Nuclear Y-box binding protein-1 expression as a prognostic marker and correlation with epidermal growth factor receptor expression in cervical cancer. The 12nd ASCO, June 1 - 5, 2012, Chicago, USA
  71. Kitagawa R, Katsumata N, Nakanishi T, Takano M, Yoshikawa H, Kamura T, et al. A randomized, phase III trial of paclitaxel plus carboplatin (TC) versus paclitaxel plus cisplatin (TP) in stage IVb, persistent or recurrent cervical cancer: Japan Clinical Oncology Group Study (JCOG0505). The 12nd ASCO, June 1-5, 2012, Chicago, USA
  72. Nishio S, Kamura T, Ochiai K, Takehima N, et al. Phase II study of combination chemotherapy with oral S-1 and oxaliplatin (SOX) in patients with mucinous adenocarcinoma of the ovary. The 37th ESMO, September 28 - October 2, 2012, Vienna, Austria
  73. Tanabe H, Ochiai K, Yoshikawa H, Kamura T, et al. Does paclitaxel plus carboplatin (TC) substitute for paclitaxel plus cisplatin (TP) in cervical cancer without prior platinum treatment? (subset analysis of Japan Clinical Oncology Group trial (JCOG 0505). The 37th ESMO, September 28 - October 2, 2012, Vienna, Austria
  74. Ushijima K, Kamura T, et al. Precise evaluation of chemotherapy - induced peripheral neuropathy using visual analogue scale : a quantitative and comparative analysis with paclitaxel - carboplatin and docetaxel - carboplatin therapy. The 14th IGCS, October 13 - 16, 2012, Vancouver, Canada
  75. Takemoto S, Kamura T, et al. The validity of converting radical hysterectomy with the intraoperative findings. The 14th IGCS, October 13 - 16, 2012, Vancouver, Canada
  76. Kawano K, Kamura T, et al. Efficacy of personalized peptide vaccine in patients with advanced or recurrent cervical cancer. The 14th IGCS, October 13 - 16, 2012, Vancouver, Canada
  77. Fukui A, Kamura T, et al. Identification of HPV16 L1-derived B cell epitopes in humans vaccinated with HPV16 L1 virus-like particle. The 28th International Papillomavirus Conference and

- Clinical and Public Health Workshops, November 30 – December 6, 2012, San Juan, Puerto Rico
78. Tokunaga H, Watanabe Y, Yaegashi N, et al. Malignant transformation Arising from mature cystic teratoma of the ovary: A retrospective study of 20 cases. The 13rd Biennial meeting of the International Gynecologic Cancer Society (IGCS2010), October. 23-26, 2010, Prague, Czech Republic.
  79. Shoji T, Yaegashi Y, et al. Phase II Clinical Study of the Combination Chemotherapy Regimen of Irinotecan Plus Oral Etoposide for the Treatment of Recurrent Ovarian Cancer (Tohoku Gynecologic Cancer Unit 101 Group Study), The 17th ESGO International Meeting, 2011, September 11-14, Milan, Italy.
  80. Sasa H, Takano M, et al. Conservative management of advanced interstitial pregnancy with uterine artery embolization and systemic methotrexate treatment: a case report. The 62th Annual Meeting of Japan Society of Obstetrics and Gynecology, 2010. 04, 23-25, Tokyo, Japan.
  81. Goto T, Takano M, et al. p16INK4a expression in cytology of ascites and response to chemotherapy in advanced ovarian cancer. The 62th Annual Meeting of Japan Society of Obstetrics and Gynecology, 2010. 4, 23-25, Tokyo, Japan.
  82. Kikuchi Y, Takano M, et al. Effects of treatment by temsirolimus on patients with clear cell carcinoma of the ovary. The 46<sup>th</sup> Annual Meeting of the American Society of Clinical Oncology (ASCO). 2010, 6, 4-8, Chicago, USA.
  83. Takano M, et al. The Impact of adjuvant chemotherapy for stage I clear cell carcinoma of the ovary: A retrospective Japan clear cell carcinoma study. The 46<sup>th</sup> Annual Meeting of the American Society of Clinical Oncology (ASCO). 2010, 6, 4-8, Chicago, USA.
  84. Miyamoto, M, Takano M, et al. Is clear-cell epithelial ovarian cancer a poor prognostic factor? The 13<sup>th</sup> Biennial Meeting of International Gynecologic Cancer Society (IGCS). 2010, 10, 23-26. Prague, Czech Republic.
  85. Watanabe A, Takano M, et al. Is third-line chemotherapy effective in ovarian carcinoma? The 13<sup>th</sup> Biennial Meeting of International Gynecologic Cancer Society (IGCS). 2010, 10, 23-26, Prague, Czech Republic.
  86. Takano M, et al. The impact of adjuvant chemotherapy for stage I clear cell carcinoma of the ovary: a retrospective Japan Clear Cell Carcinoma Study. The 13<sup>th</sup> Biennial Meeting of International Gynecologic Cancer Society (IGCS). 2010, 10, 23-26, Prague, Czech Republic.
  87. Goto T, Takano M, et al. Secondary cytoreductive surgery for recurrence of Mullerian carcinoma. The 13<sup>th</sup> Biennial Meeting of International Gynecologic Cancer Society (IGCS). 2010, 10, 23-26. Prague, Czech Republic.
  88. Kikuchi Y, Takano M, et al. Prediction by serum biomarkers of response to treatment with paclitaxel and carboplatin in serous cystadenocarcinoma of the ovary. The 13<sup>th</sup> Biennial Meeting of International Gynecologic Cancer Society (IGCS). 2010, 10, 23-26. Prague, Czech Republic.
  89. 渡邊昭夫、高野政志、他：「子宮体部明

- 細胞腺癌の2例」第47回埼玉県医学会総会 2010.1.24、さいたま市。
90. 笹 秀典、高野政志、他:「子宮筋腫に対する子宮動脈塞栓術の有用性と限界」第55回防衛衛生学会 2010.1月28日、東京。
91. 宮本守員、高野政志、他:「胸水貯留を初発症状とし子宮体癌との鑑別を要した卵管癌の1例」第29回日本臨床細胞学会埼玉県支部・埼玉県臨床細胞医会 2010.3月6日、さいたま市。
92. 高野政志、横田治重、他:「UGT1A1 遺伝子多型に基づく塩酸イリノテカンとシスプラチン併用療法(CPT-P)の用量設定-Saitama Tumor Board(STB)-06第1相試験-」第62回日本産科婦人科学会学術講演会 2010.4月23日-25日、東京。
93. 喜多恒和、高野政志、他:「わが国における HIV 母子感染 48 例の疫学的・臨床的解析」第62回日本産科婦人科学会学術講演会 2010.4月23日-25日、東京。
94. 渡邊昭夫、高野政志、他:「上皮性卵巣癌に対する third-line salvage chemotherapy は有益であるか」第62回日本産科婦人科学会学術講演会、2010.4月23日-25日、東京。
95. 山本宗平、高野政志、他:「明細胞腺癌の悪性度分類」第99回日本病理学会総会 2010.4月27日-29日、東京。
96. 高野政志、ランチョンセミナー「卵巣癌化学療法、タキサン製剤の位置づけ」第129回産科婦人科学会東北連合地方部会総会 2010.5月23日、盛岡。
97. 高野政志、特別講演「卵巣がん・子宮頸がん治療ガイドライン導入後の婦人科がん治療」第19回庄内産婦人科腫瘍研究会 2010.5月14日、鶴岡。
98. 高野政志、特別講演「卵巣癌に対する分子標的薬の効果」第155回新潟産科婦人科集談会 2010.6月15日、新潟。
99. 渡邊昭夫、高野政志、他:「転移リンパ節の鑑別診断を要した乳癌既往のある子宮体癌の1例」第51回日本臨床細胞学会 2010.5月29日-30日、横浜。
100. 秋元太志、高野政志、他、メソトレキセート全身療法により卵管間質部妊娠を早期に保存療法し得た1例 第119回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会・学術集会 2010.6月13日、東京。
101. 高野政志、ランチョンセミナー「卵巣がん治療ガイドライン導入後の婦人科診療について」第119回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会・学術集会 2010.6月13日、東京。
102. 高野政志、他:「ワークショップ」蛋白質および糖鎖解析によるバイオマーカー探索「卵巣癌に対するパクリタキセル・カルボプラチン療法の効果を予測する血清バイオマーカー」第20回日本サイトメトリー学会・学術集会 2010.6月26日-27日、東京。
103. 高野政志、他:「シンポジウム」卵巣がん予後向上のためのチャレンジ「分子標的薬をいかに卵巣癌治療に導入するか?」第48回日本婦人科腫瘍学会学術講演会、2010.7月8日-10日、つくば。
104. 渡邊昭夫、高野政志、他:「上皮性卵巣癌に対する third-line salvage chemotherapy は有益であるか」第48回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 2010.7月8日-10日、つくば。
105. 宮本守員、高野政志、他:「卵巣明細胞腺癌は予後不良なのか?」第48回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 2010.7月8日-10日、つくば。
106. 青木大輔、高野政志、他:「卵巣がん治療ガイドライン2010年版について」上皮性卵巣癌の化学療法に関する改訂のポイント」第48回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 2010.7月8日-10日、つくば。
107. 高野政志、八重樫伸生、他:「卵巣明細胞腺癌早期例に対する初回化学療法 Japan Clear Cell Carcinoma Study 後方視的検討」第48回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 2010.7月8日-10日、つくば。
108. 後藤友子、高野政志、他:「卵巣癌再発



- に対する手術療法施行症例における予後についての検討」第48回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 2010.7月8日-10日、つくば。
109. 笹 秀典、高野政志、他:「卵管間質妊娠の保存療法-3例の検討」第52回埼玉県産婦人科医会ホルモンと生殖医学研究会 2010.7月24日、さいたま市。
  110. 菊池義公、高野政志、他:「再発・抵抗性卵巣明細胞腺癌に対する weekly temsirolimus の使用経験」第9回日本婦人科がん分子標的研究会学術集会 2010.9月10日、大津。
  111. 渡邊昭夫、高野政志、他:「Second-line chemotherapy 以降における再発卵巣癌の治療について」第48回日本癌治療学会学術集会 2010,10月28日-30日、京都。
  112. 宮本守員、高野政志、他:「当院における組織型別の卵巣癌の予後について」第48回日本癌治療学会学術集会 2010,10月28日-30日、京都。
  113. 後藤友子、高野政志、他:「卵巣癌再発に対する手術療法についての検討」第48回日本癌治療学会学術集会 2010,10月28日-30日、京都。
  114. 高野政志、他. パネルディスカッション 19「再発卵巣がん治療:最先端を覗く」再発・再燃卵巣がんの治療戦略における分子標的薬の位置づけ 第48回日本癌治療学会学術集会 2010,10月28日-30日、京都。
  115. 田畑務、高野政志、他:パネルディスカッション 19「再発卵巣がん治療:最先端を覗く」プラチナ抵抗性再発卵巣癌の化学療法-JGOG3018- 第48回日本癌治療学会学術集会 2010,10月28日-30日、京都市。
  116. 松浦寛子、高野政志、他. 「Gemcitabine 及び Docetaxel 併用療法と debulking surgery で予後が改善した子宮平滑筋肉腫の一例」第120回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会・学術集会 2010.11月30日、つくば市。
  117. 喜多恒和、高野政志、他:「本邦における HIV 感染妊娠の動向と母子感染予防対策の現状-」産婦人科小児科全国調査から- 第24回日本エイズ学会学術集会・総会 2010.11月24日-26日、東京。
  118. 高野政志:特別講演「ASCO2011 を振り返って」ヤンセンファーマ WEB カンファレンス (2011、東京都)
  119. 高野政志:ASCO2011 review 婦人科腫瘍編. 宮城県婦人科腫瘍講演会 (2011、仙台市)
  120. 高野政志:特別セミナー「がん診療における婦人科腫瘍の位置づけ -その特殊性と将来展望-」若手産科婦人科医師の夏期セミナー (2011、新潟市)
  121. 高野政志:特別講演 「婦人科がん治療におけるトポテシンの位置づけ」学術セミナー〜トポテシンの適正使用と個別化治療を探る〜 (2011、京都市)
  122. 高野政志:ランチョンセミナー 31「再発婦人科がん治療-本邦からエビデンスを発信するために-」第63回日本産科婦人科学界学術講演会 8月29-31日,2011. 大阪
  123. 高野政志、他:「卵巣明細胞腺癌の臨床像」第50回日本婦人科腫瘍学会学術集会 7月22日-24日,2011. 札幌。
  124. 宮本守員、高野政志、他:「子宮体癌に対する骨盤及び傍大動脈リンパ節郭清の検討」第50回日本婦人科腫瘍学会学術集会 7月22日-24日,2011. 札幌。
  125. 高野政志、他. 卵巣明細胞腺癌に対する分子標的療法の展望 -臨床試験実施の可能性を探る-「前治療抵抗性卵巣明細胞腺癌に対する temsirolimus の使用経験」第8回婦人科がん会議 11月11日,2011. 沖縄。
  126. Kikuchi Y, Takano M, et al. Effects of weekly bevacizumab and paclitaxel/carboplatin with or without sorafenib on heavily pretreated patients with recurrent or persistent cervical cancer. The 47th Annual Meeting of the American Society of Clinical Oncology, June 3-7, 2011, Chicago, USA

127. Kouta H, Takano M, et al. Bevacizumab can enhance therapeutic effects of pegylated liposomal doxorubicin in patients with platinum-resistant recurrent or refractory ovarian cancers. The 47th Annual Meeting of the American Society of Clinical Oncology, June 3-7, 2011, Chicago, USA
128. Goto T, Takano M, et al. International Session Oral Presentation "Retrospective analyses on prognosis high grade endometrial cancer:A comparison of serous type and clear cell type to Grade 3 endometrioid type." The 63rd annual meeting of Japan Society of Obstetrics and Gynecology, August 29-31, Osaka.
129. Takano M, et al. Patients with stage IIIc ovarian clear cell carcinoma upstaged by lymph node metastasis have similar survival to other stage III clear cell carcinoma patients. The 63rd annual meeting of Japan Society of Obstetrics and Gynecology, August 29-31, Osaka.
130. Takano M, et al. Lymph node status as a strong indicator of poor survival for advanced ovarian clear cell carcinoma. The 17th international meeting of European society of Gynaecological Oncology (ESGO) (2011, Milan, Italy)
131. Goto T, Takano M, et al. Prognosis of high grade endometrial cancer: a comparison of serous type and clear cell type to grade 3 endometrioid type. The 17th international meeting of European society of Gynaecological Oncology (ESGO) September 11-14, 2011, Milan, Italy.
132. 渡邊昭夫、高野政志、他:「再発卵巣がんの治療戦略-再発後長期生存者から学ぶ-」第21回埼玉県産婦人科医会・婦人科腫瘍研究会(2011、さいたま市)
133. 笹 秀典、高野政志、他:「卵管間質部妊娠を子宮動脈塞栓術で保存療法した2例」第56回防衛衛生学会 2月2-3日,2011.東京.
134. 今井瑞葉、高野政志、他:「子宮筋腫分娩の治療法に関する一考察」第56回防衛衛生学会,2月2-3日,2011.東京.
135. 伊藤 希、高野政志、他:「婦人科腫瘍診断における針生検の有用性について-針生検により診断に至った卵巣未分化漿液性腺癌の一例」第11回子宮筋層病変生検研究会(2011、岡山市)
136. 今井瑞葉、高野政志、他:「画像診断と針生検-針生検により治療方針を決定した Atypical polypoid adenomyoma の一例」第11回子宮筋層病変生検研究会(2011、岡山市)
137. 藤田裕彰、高野政志、他:「診断困難であった子宮頸部腺癌症例の検討」第48回埼玉県医学会(2011、さいたま市)
138. 渡邊昭夫、高野政志、他:「放射線治療後異形成の細胞像を呈して12年後に頸部リンパ節に再発した子宮頸癌の1例」第52回日本臨床細胞学会総会 5月20-22日.2011.福岡.
139. 伊藤 希、高野政志、他:「子宮筋腫分娩に併存した子宮癌肉腫の1例-子宮癌肉腫例の検討」第121回日本産科婦人科学会関東連合地方部会学術集会 6月12日.2011.東京
140. 秋元太志、高野政志、他:「Bevacizumab、temozolomide 併用療法により完全寛解を得た多剤耐性子宮平滑筋肉腫の一例」第10回日本婦人科がん分子標的研究会学術集会,7月2日.2011.島根.
141. 曾山浩明、高野政志、他:「前治療抵抗性卵巣明細胞腺癌に対するtemsirolimusの使用経験」第10回日本婦人科がん分子標的研究会学術集会 7月2日.2011.島根.
142. 本田一文、高野政志、他:「抗体ライブラリーを用いた進行卵巣がんの化学療法奏効性、予後予測マーカーの開発」第10回日本婦人科がん分子標的

- 研究会学術集会 7月2日, 2011. 島根.
143. 秋元太志、高野政志、他:「Bevacizumab、temozolomide 併用療法により完全寛解を得た多剤耐性子宮平滑筋肉腫の1例」第50回日本婦人科腫瘍学会学術集会 7月22日-24日, 2011. 札幌.
  144. 後藤友子、高野政志、他:「High grade 子宮体癌における治療成績と予後についての検討」第50回日本婦人科腫瘍学会学術集会 7月22日-24日, 2011. 札幌.
  145. 渡邊昭夫、高野政志、他:「再発後長期生存者から学ぶ再発卵巣がんの治療戦略」第50回日本婦人科腫瘍学会学術集会 7月22日-24日, 2011. 札幌.
  146. 山本宗平、高野政志、他:「卵巣明細胞癌におけるMET 遺伝子増幅とMET 過剰発現:その臨床病理学的意義と治療標的としての可能性」第50回日本婦人科腫瘍学会学術集会 7月22日-24日, 2011. 札幌.
  147. 喜多恒和、高野政志、他:「HIV 感染妊娠に特化したエイズ拠点病院の再整備に関する提案」第63回日本産科婦人科学会学術講演会 8月29-31日, 2011. 大阪.
  148. 宮本守員、高野政志、他:「子宮体癌臨床進行期I/II期の子宮摘出の術式の検討」第63回日本産科婦人科学会学術講演会 8月29-31日, 2011. 大阪.
  149. 今井瑞葉、高野政志、他:「子宮筋腫に対する子宮動脈塞栓術の適応と限界」第63回日本産科婦人科学会学術講演会 8月29-31日, 2011. 大阪.
  150. 藤田裕彰、高野政志、他:「子宮頸部腺癌の診断における細胞診と狙い組織診の限界」第63回日本産科婦人科学会学術講演会 8月29-31日, 2011. 大阪.
  151. 渡邊昭夫、高野政志、他:「当院における最近の子宮肉腫に対する検討」第63回日本産科婦人科学会学術講演会 8月29-31日, 2011. 大阪.
  152. 曾山浩明、高野政志、他:「急速な転帰をとり病理解剖にて診断された undifferentiated endometrial sarcoma の一例」第63回日本産科婦人科学会学術講演会 8月29-31日, 2011. 大阪.
  153. 秋元太志、高野政志、他:「神経内分泌分化を示した悪性転化を伴う成熟のう胞性奇形腫の一例」
  154. 第63回日本産科婦人科学会学術講演会 8月29-31日, 2011. 大阪.
  155. 松浦寛子、高野政志、他:「血管閉塞用バルーンカテーテル併用により腫瘍摘出を行った深部静脈血栓合併卵巣明細胞腺癌の一例」第63回日本産科婦人科学会学術講演会 8月29-31日, 2011. 大阪.
  156. 小宮慎之介、高野政志、竹島信宏、他. 「Bevacizumab, Gemcitabine, Oxaliplatin 併用療法が著効をしめした多剤耐性卵巣漿液性癌の一例」第122回関東連合産科婦人科学総会・学術集会 (2011、横浜市)
  157. 大久保和樹、高野政志、他:優秀演題候補「当院における卵黄嚢腫瘍14症例の検討」第122回関東連合産科婦人科学総会・学術集会 10月30日, 2011. 横浜.
  158. Yamamoto S, Takano M, et al. PIK3CA mutation is an early event in the development of endometriosis-associated ovarian clear cell adenocarcinoma. 第70回日本癌学会学術総会 10月3-5日, 2011. 名古屋.
  159. 喜多恒和、高野政志、他:「わが国のHIV 感染妊娠と母子感染予防対策の現状」第25回日本エイズ学会学術集会 2011年11月30日-12月2日. 東京.
  160. 後藤友子、高野政志、他:「子宮体癌症例における治療成績と予後について組織型別の比較検討」第49回日本癌治療学会学術集会 10月27-29日, 2011. 名古屋.
  161. 笹秀典、高野政志、他:「子宮頸部上皮内腫瘍合併妊娠の管理とピットホール」第50回日本臨床細胞学会秋期大会 10月22-23日, 2011. 東京.
  162. 太枝美帆、高野政志、他. 産科出血の対応と限界. 第15回産婦人科臨床フ

- オーラム 12月9日, 2011. 東京.
163. Takano M. Interactive Session WHAT' S CLEAR AND NOT CLEAR ABOUT CLEAR CELL CANCER "CLINICAL AND PATHOLOGICAL ISSUE" The 14th biennial meeting of the International Society of Gynecological Cancer (IGCS) (2012, Vancouver, Canada).
  164. 青山 真、高野政志、他:ワークショップ「妊娠 20 週以降の来院時高血圧は PIH の予測因子である」第 22 回腎と妊娠研究会 2012 年 2 月 25 日、東京.
  165. 高野政志. ランチョンセミナー 31 再発婦人科がん治療「再発卵巣がん治療におけるイリノテカンの位置づけ」第 64 回日本産科婦人科学術講演会 4 月 13 日-15 日. 2012. 神戸
  166. 高野政志. 特別講演 卵巣明細胞腺癌 Up-to-date 平成 24 年度 岩手産科婦人科学会学術講演会 (2012、盛岡市)
  167. 古谷健一、高野政志、他:ワークショップ「帝王切開時の筋腫核出に関する是非?帝王切開時の筋腫核出術:子宮筋腫合併妊婦に関する考察」第 123 回関東連合産科婦人科学会, 2012 年 6 月 17 日, 東京.
  168. 高野政志. 講演「婦人科癌における分子標的薬の現状」第 4 回 埼玉南西部地区がん化学療法研究 (2012、所沢)
  169. 高野政志. 特別講演「婦人科がんに対する分子標的治療の現状と展望」KCOG 学術集会 (2012、横浜)
  170. 高野政志. 要望講演 中央病理判定に基づく臨床研究: 卵巣 JGOG3014 -組織型の中央病理判定を取り入れた本邦での前向き臨床試験- 第 51 回 日本臨床細胞学会秋期大会, 2012 年 11 月 9 日-10 日、新潟.
  171. Sasa H, Takano M, et al. Usefulness of diagnostic needle biopsy for patients with gynecologic malignant tumors. The 64th annual meeting of Japan Society of Obstetrics and Gynecology (2012, Kobe)
  172. Goto T, Takano M, et al. The outcome of palliative care including bowel surgery for malignant bowel obstruction (MBO) in patients with gynecologic malignancy. The 64th annual meeting of Japan Society of Obstetrics and Gynecology (2012, Kobe)
  173. Takano M, et al. Is genotyping of UGT1A1 really useful for gynecologic cancer patients treated with irinotecan-based chemotherapy? The 64th annual meeting of Japan Society of Obstetrics and Gynecology (2012, Kobe)
  174. Ikeda Y, Takano M, et al. Effect of weekly administration of bevacizumab, gemcitabine, and oxaliplatin in patients with heavily pretreated ovarian cancer. The 48th Annual Meeting of the American Society of Clinical Oncology (ASCO) (2012, Chicago, USA)
  175. Chiyoda T, Takano M, et al. A gene expression profile as a predictor of recurrence in low and intermediate-risk endometrial cancer. The 14th biennial meeting of the International Society of Gynecological Cancer (IGCS) (October 13-16, 2012 Vancouver, Canada)
  176. Takano M, et al. Is genotyping of UGT1A1 really useful for gynecologic cancer patients treated with irinotecan-based chemotherapy? The 14th biennial meeting of the International Society of Gynecological Cancer (IGCS) (2012 Vancouver, Canada)
  177. Nagao S, Takano M, et al. Is platinum free interval following primary chemotherapy a predictive factor of survival after second-line chemotherapy in recurrent

- endometrial cancer? The 14th biennial meeting of the International Society of Gynecological Cancer (IGCS) (October 13-16, 2012 Vancouver, Canada)
178. Miyamoto M, Takano M, et al. Preliminary analysis of combination chemotherapy with irinotecan and platinum for patients with recurrent endometrial carcinomas. The 14th biennial meeting of the International Society of Gynecological Cancer (IGCS) (October 13-16, 2012 Vancouver, Canada)
179. Goto T, Takano M, et al. The outcome of palliative care including bowel surgery for malignant bowel obstruction in patients with gynecologic malignancy. The 14th biennial meeting of the International Society of Gynecological Cancer (IGCS) (October 13-16, 2012 Vancouver, Canada)
180. Aoyama T, Takano M, et al. The rising rate of CA125 after the first administration predicted the response of Pegylated liposomal doxorubicin (PLD). The 14th biennial meeting of the International Society of Gynecological Cancer (IGCS) (October 13-16, 2012 Vancouver, Canada)
181. Miyamoto M, Takano M, et al. X-chromosome-linked inhibitor of apoptosis (XIAP) is an independent poor prognostic factor in ovarian clear cell carcinoma. The 14th biennial meeting of the International Society of Gynecological Cancer (IGCS) (October 13-16, 2012 Vancouver, Canada)
182. 大久保和樹、高野政志、他:「子宮頸部病変の診断における細胞診の有用性-円錐切除例の検討」第49回埼玉県医学会, 2012年1月22日、さいたま市.
183. 笹 秀典、高野政志、他:「子宮頸部病変に対するループ式電気円錐切除(LEEP)の優位性」第57回防衛衛生学会, 2012年2月2日、東京.
184. 太枝美帆, 高野政志, 他:「追加の切り出しで微小な卵管癌が発見された漿液性腺癌の2症例-卵巣がん発生母地のパラダイムシフト」第64回日本産科婦人科学会学術講演会 4月13日-15日. 2012. 神戸
185. 大久保和樹, 高野政志, 他:「腫瘍発 Undifferentiated sarcoma の一例」第64回日本産科婦人科学会学術講演会, 4月13日-15日. 2012. 神戸
186. 高橋詳史, 高野政志, 他:「子宮内膜細胞診の精度に関する研究」第56回防衛衛生学会. 第64回日本産科婦人科学会学術講演会, 4月13日-15日. 2012. 神戸
187. 佐々木直樹, 高野政志, 他:「卵巣癌におけるパクリタキセル耐性獲得に関与する分子生物学的機序の解明」第64回日本産科婦人科学会学術講演会, 4月13日-15日. 2012. 神戸
188. 宮本守員, 高野政志, 他:「再発子宮体癌に対する塩酸イリノテカンの有効性」第64回日本産科婦人科学会学術講演会, 4月13日-15日. 2012. 神戸
189. 青山 真, 高野政志, :「再発卵巣癌へのドキシル投与における奏効率と CA125の変動について」第64回日本産科婦人科学会学術講演会, 4月13日-15日. 2012. 神戸
190. 喜多恒和, 高野政志, 他:「わが国のHIV感染妊婦と母子感染予防対策の現状」第64回日本産科婦人科学会学術講演会, 4月13日-15日. 2012. 神戸.
191. 加藤雅史, 高野政志、他:「mTOR, HIF-1 $\alpha$ , Glut1の異常発現は卵巣明細胞腺癌(CCA)の腫瘍形成と密接に関連する」第64回日本産科婦人科学会学術講演会, 4月13日-15日. 2012. 神戸

192. 池田悠至、高野政志、他：「難治性再発卵巣癌における Weekly bevaczumab +GEMOX (Gemcitabine+Oxaliplatin) 療法の検討」第11回日本婦人科がん分子標的研究会学術集会. 2012、日光.
193. 鈴木亜矢子、高野政志、他：「子宮頸部病変における肺異形成遺伝子の免疫組織化学染色に関する検討」第53回日本臨床細胞学会学術集会, 2012年6月1日-3日、幕張
194. 後藤友子、高野政志、他：「婦人科癌終末期における腸閉塞についての検討」第52回日本婦人科腫瘍学会 2012年7月19日-21日、東京.
195. 加藤雅史、高野政志、他：「前駆病変と隣接する卵巣明細胞腺癌における Baf250a 欠失の頻度」第52回日本婦人科腫瘍学会, 2012年7月19日-21日東京.
196. 青山 真、高野政志、他：「カルボプラチンアレルギー患者に対するシスプラチン投与に関する検討」第52回日本婦人科腫瘍学会 2012年7月19日-21日、東京.
197. 高野政志、他：「UGT1A1 遺伝子多型の測定によりイリノテカンの毒性は軽減されたか?」第52回日本婦人科腫瘍学会, 2012年7月19日-21日、東京.
198. 中西篤史、高野政志、他：「卵巣腫瘍術後に大腿神経麻痺をきたした1例」第124回関東連合産科婦人科学会, 2012年10月28日、山梨.
199. 喜多川亮、高野政志、横田治重、落合和徳、吉川裕之、嘉村敏治、他：「IVb期・再発子宮頸癌に対する化学療法の治療効果予測因子の検討(JCOG0505 試験より)」第50回日本癌治療学会学術集会. 平成24年10月25日-27日、横浜.
200. 高野政志、他：「UGT1A1 多型検査導入前後のイリノテカン治療による副作用 Profile の変化」第50回日本癌治療学会学術集会. 平成24年10月25日-27日、横浜.
201. 宮本守員、高野政志、他：「c-Met 蛋白発現は卵巣粘液性腺癌の発癌に関与する」第50回日本癌治療学会学術集会. 平成24年10月25日-27日. 横浜.
202. 青山真、高野政志、他：「再発卵巣癌への Pegylated liposomal doxorubicin (PLD) 投与での奏効率と CA125 の変動」第50回日本癌治療学会学術集会. 平成24年10月25日-27日、横浜.
203. 後藤友子、高野政志、他：「卵巣明細胞腺癌再発症例についての検討」第50回日本癌治療学会学術集会. 平成24年10月25日-27日. 横浜.
204. 加藤顕人、高野政志、他：「汎発性腹膜炎を発症した変性子宮筋腫の1例」第82回埼玉産科婦人科学会・埼玉県産婦人科医会・平成24年度後期学術集会 2012年11月10日、さいたま市
205. 喜多恒和、高野政志、他：「当 HIV 感染妊娠の動向と母児感染予防対策」第26回日本エイズ学会学術集会, 2012年11月24日-26日、横浜.
206. 青山 真、高野政志、他：「TC療法におけるアレルギー予測因子の解析」第16回産婦人科臨床フォーラム, 2012年12月12日、東京.
207. 細野覚代、中西 透、他：「日本人女性における成人期の体重増加と子宮内膜癌リスクとの関連」第48回日本婦人科腫瘍学会、7月8日-10日、2010、つくば.
208. 水野美香、中西 透、他：「低悪性度子宮内膜間質肉腫の臨床病理学的検討 MPA療法は有用か?」第48回日本婦人科腫瘍学会、7月8日-10日、2010、つくば.
209. 野崎浩文、中西 透、他：「腹腔洗浄液を用いたグライコプロテオミクス解析による明細胞性卵巣癌マーカーの探索」第30回日本分子腫瘍マーカー研究会、9月21日、2010、大阪.
210. 久保田智巳、中西 透、他：「卵巣がんバイオマーカーとしての糖転移酵素」第30回日本分子腫瘍マーカー研究会、9月21日、2010、大阪.
211. 河合要介、中西 透、他：「子宮体癌に対するリンパ節郭清の適用に関する

- 検討」第48回日本癌治療学会学術集会、2010年10月28日-30日、2010、京都。
212. 吉田憲生、中西 透:「子宮頸部円錐切除の治療成績と問題点」第49回日本臨床細胞学会秋期大会、11月21日-22日、2010、神戸。
213. 濱西潤三、小西郁生、他:「ケモカインCCL19 遺伝子を導入した 胚性血管内皮前駆細胞を用いた 局所免疫の活性化は、卵巣癌の転移を抑制する」第62回日本産科婦人科学会学術講演会平成22年4月25日 東京。
214. 山村省吾、小西郁生、他:「卵巣癌大網転移における TGF- $\beta$  活性亢進と TGF- $\beta$  阻害剤による治療の試み」第62回日本産科婦人科学会学術講演会平成22年4月25日、東京。
215. 濱西潤三、小西郁生、他:「卵巣癌局所における免疫環境を推測する新たな解析法とその意義」第62回日本産科婦人科学会学術講演会、平成22年4月25日、東京。
216. 安彦 郁、小西郁生、他:「卵巣未熟奇形腫における Oct4 の発現」第62回日本産科婦人科学会学術講演会 平成22年4月25日、東京。
217. 岡本尊子、小西郁生、他:「原発性卵巣粘液性腺癌と転移性卵巣癌の鑑別:新規マーカー分子 DPEP1 を用いたアルゴリズム作成」日本婦人科腫瘍学会学術講演会 平成22年7月8日-10日、つくば。
218. 山村省吾、小西郁生、他:「卵巣癌大網転移における TGF $\beta$  経路活性亢進とその阻害剤の治療効果」第9回日本婦人科がん分子標的研究会学術集会2010年9月10日、大津。
219. 岡本尊子、小西郁生、他:「卵巣明細胞腺癌における HNF1 $\beta$  を介した糖代謝機構の解明」第9回日本婦人科がん分子標的研究会学術集会 2010年9月10日、大津。
220. 濱西潤三、小西郁生、他:「The immunologic change in advanced ovarian cancer patients after chemotherapy」第69回日本癌学会学術講演会 平成22年9月23日、大阪。
221. 山村省吾、小西郁生、他:「Upregulation of TGF $\beta$  pathway in ovarian cancer metastasis and therapeutic effects of its inhibition」(卵巣がん腹膜播種における TGF $\beta$  の活性化とその抑制による治療への試み)」第69回日本癌学会学術講演会 平成22年9月23日 大阪。
222. 安彦 郁、小西郁生、他:「Oct4 expression in immature teratoma of the ovary: relevance to histological grade」第69回日本癌学会学術講演会 平成22年9月23日、大阪。
223. 岡本尊子、小西郁生、他:「Distinguishing primary from secondary mucinous ovarian tumors: an algorithm using the novel marker DPEP1」第69回日本癌学会学術講演会 平成22年9月23日、大阪。
224. Hamanishi J, Konishi I, et al. 「The immunologic change in advanced ovarian cancer patients after chemotherapy with paclitaxel or carboplatin」14th International congress of Immunology August, 22-27th, 2010 Kobe.
225. 濱西潤三、小西郁生、他:「血管内皮前駆細胞を用いた新規がん免疫療法の基礎的検討」第51回日本組織細胞化学会学術集会 9月4日-5日、2010、東京。
226. Yamamura S, Konishi I, et al. Upregulation of TGF $\beta$  pathway in ovarian cancer metastasis and therapeutic effects of its inhibition. IGCS2010 (The 13rd Biennial meeting of the International Gynecologic Cancer Society (IGCS2010), October, 25, 2010, Prague Congress centre, Prague, Czech Republic.
227. Abiko K, Konishi I, et al. Oct4 Expression in Immature Teratoma of

- Ovary: Immunohistochemical Analysis of 18 Cases 第9回アジア臨床腫瘍学会学術集会、2010年8月25日-27日 岐阜.
228. 中井英勝、渡部 洋、星合 昊、他:「再発卵巣癌におけるPETとCA125についての検討」第62回日本産科婦人科学会学術講演会、2010年4月23日-25日、東京.
229. 中井英勝、渡部 洋、他:「再発卵巣癌に対する手術療法の有効性に関する後方視的検討」第50回日本癌治療学会 2010.10.25 東京
230. 岡留雅夫、齋藤俊章、他:「無症状例を含む婦人科腫瘍術後肺塞栓症の臨床的特徴と危険因子の検討」第48回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 2010年7月8日-10日、つくば.
231. 萩原聖子、齋藤俊章、他:「卵巣顆粒膜細胞腫の臨床病理学的検討」第48回日本癌治療学会総会、2010年10月28日-30日、京都.
232. 安永昌史、齋藤俊章、他:「右広間膜内に発育した Sclerosing perivascular epithelioid cell tumor (PEComa) の一例」第50回日本婦人科腫瘍学会学術講演会、2011年7月22-24日、札幌
233. 齋藤俊章、生涯研修プログラム、1. クリニカルディベート1) 腫瘍、③子宮頸癌1b2期に対する治療、5) 広汎子宮全摘術適用の立場に立って、第63回日本産科婦人科学会学術講演会、2011年8月29-31日、大阪.
234. 有吉和也、齋藤俊章、小林裕明、他:「外陰癌の手術療法の後方視的検討(特に術式と予後、合併症の観点から)」第63回日本産科婦人科学会学術講演会、2011年8月29-31日、大阪
235. 今村紘子、齋藤俊章、他:「子宮由来 Ewing sarcoma/ primitive neuroectodermal tumor (PNET) の1例」第63回日本産科婦人科学会学術講演会、2011年8月29-31日、大阪.
236. 安永昌史、齋藤俊章、他:「稀な肉腫への悪性転化を伴う成熟嚢胞性奇形腫の一症例」第63回日本産科婦人科学会学術講演会 2011年8月29-31日、大阪.
237. 中西 透、齋藤俊章、他:「白金製剤感受性再発卵巣がんに対するリポソーム化ドキシソルビシン(PLD)とカルボプラチン(CBDCA)併用療法に関する第Ⅱ相臨床試験」第63回日本産科婦人科学会学術講演会、2011年8月29日-31日、大阪.
238. 島本久美、齋藤俊章、他:「再発子宮体癌における予後因子の検討」第64回日本産科婦人科学会学術講演会、2012年4月13日-15日、神戸
239. 衛藤貴子、齋藤俊章、他:「3c-4期子宮体癌に対する治療法の選択 遠隔転移例や摘出困難例の考察」第52回日本婦人科腫瘍学会学術講演会、2012年7月19日-21日、東京
240. 島本久美、齋藤俊章、他:「再発子宮体癌の予後因子としてのTreatment free interval (TFI) の検討」第52回日本婦人科腫瘍学会学術講演会、2012年7月19日-21日、東京
241. 島本久美、齋藤俊章、他:「再発卵巣癌に対するトポテカンの長期使用例の報告」第50回日本癌治療学会学術集会、2012年10月25日-27日、横浜.
242. 富田友衣、齋藤俊章、他:「当院における再発卵巣癌に対する CDDP+GEM 併用療法の使用経験」第50回日本癌治療学会学術集会、2012年10月25日-27日、横浜.
243. 小玉敬亮、齋藤俊章、他:「妊孕性温存卵巣癌術後に発生した子宮体癌の一例」第146回福岡産科婦人科学会、2013年1月20日、福岡
244. 矢内原臨、落合和徳、他:「卵巣明細胞腺癌における IL-6 シグナルに関する検討」第63回日本産科婦人科学会学術講演会 2011年9月 大阪
245. 長阪一憲、川名 敬、他:「当科における進行卵巣癌(T3c期)に対するInterval Debulking Surgery (IDS)の意義について」第52回日本婦人科腫瘍学会、2012年7月19日-21日、東京.
246. 高橋樹里、川名 敬、他:「腹腔内播種



- を伴った卵巣低悪性度漿液性腺癌の 3 例」第 50 回日本癌治療学会、2012 年 10 月 25 日-27 日、横浜。
247. 三浦紫保、川名 敬、他：「再発卵巣明細胞腺癌に対する Gemcitabine 療法の有用性の検討」第 50 回日本癌治療学会、2012 年 10 月 25 日-27 日、横浜。
248. 堀江弘二、横田治重、他：「卵巣癌・卵管癌の存続・再発例に対する治療と予後に関する臨床的検討」第 48 回日本癌治療学会、2010 年 10 月 28 日-30 日、京都。
249. 久保田和子、横田治重、他：「進行・再発卵巣がん治療における腹水濾過濃縮再静注法の有用性について」第 48 回婦人科腫瘍学会学術講演会、2010 年 7 月 8 日-10 日、つくば。
250. 横田治重、他：「再発卵巣癌治療における手術療法の意義」第 50 回日本婦人科腫瘍学会、2011 年 7 月 22 日-24 日、札幌。
251. 久保田和子、横田治重、他：「癌終末期腸閉塞に対するオクトレオチド使用によると考えられる高度徐脈を合併した 2 症例」第 50 回日本婦人科腫瘍学会、2011 年 7 月 22-24 日、札幌。
252. 久保田和子、横田治重、他：「進行・再発卵巣癌治療における腹水濾過濃縮再静注法の有用性の検討」第 63 回日本産科婦人科学会学術集会、2011 年 8 月 29-31 日、大阪。
253. Mannel R, Hiura M, et al.: GOG 175: A randomized phase III trial of IV carboplatin (AUC 6) and paclitaxel 175 mg/m<sup>2</sup> Q21 days x 3 courses plus low dose paclitaxel 40 mg/m<sup>2</sup>/wk versus IV carboplatin (AUC6) and paclitaxel 175 mg/m<sup>2</sup> Q21 days x 3 courses plus observation in patients with early stage ovarian carcinoma. Society of Gynecologic Oncologists 41st Annual Meeting on Women's Cancer San Francisco, California, USA, March 14-17, 2010.
254. 島田宗昭、日浦昌道、八重樫伸生、他：「子宮頸部腺癌に対する術後放射線治療の意義：三海婦人科スタディグループ/東北婦人科腫瘍研究会多施設共同研究」第 62 回日本産科婦人科学会学術講演会 2010 年 4 月 23-25 日、東京。
255. 白山裕子、野河孝充、日浦昌道、他：「子宮頸部腺癌手術症例の長期予後」第 62 回日本産科婦人科学会学術講演会 2010 年 4 月 23-25 日、東京。
256. 白山裕子、野河孝充、日浦昌道、他：「子宮頸部腺癌手術症例の予後に関する検討」第 49 回愛媛県産婦人科医学会学術集談会 2010 年 5 月 22 日、松山。
257. 松元 隆、野河孝充、日浦昌道、他：「上皮性卵巣癌における weekly (dose-dense) TP 療法の有効性と安全性に関する検討」第 49 回愛媛県産婦人科医学会学術集談会 2010 年 5 月 22 日、松山。
258. 松元 隆、野河孝充、日浦昌道、他：「頸部細胞診クラスⅢa 症例における高リスク HPV DNA の存在様式と組織診断との関連性」第 51 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）2010 年 5 月 29 日-31 日、横浜。
259. 寺本典弘、野河孝充、日浦昌道、他：「体腔液材料のセルブロック標本を使った原発巣推定の有用性」第 51 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）2010 年 5 月 29 日-31 日、横浜。
260. 野河孝充、日浦昌道、他：「Ia 期悪性転化卵巣成熟奇形腫術後に腹壁創部内に再発した紡錘形細胞癌の 1 例」第 51 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）2010 年 5 月 29 日-31 日、横浜。
261. 松元 隆、日浦昌道、野河孝充、他：「子宮頸部病変における高リスク HPV DNA 存在様式の診断意義～HPV testing の pitfall～」第 48 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 2010 年 7 月 8 日-10 日、つくば。
262. 日浦昌道：教育講演「子宮体癌肉腫の新 FIGO 進行期分類について」第 48 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 2010 年 7 月 8 日-10 日、つくば。
263. 喜多川亮、日浦昌道、他：「局所進行子宮頸癌に対する高線量率腔内照射による同時化学放射線療法

- の多施設第Ⅱ相試験 (JGOG1066) 」第 48 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会, 2010 年 7 月 8 日-10 日、つくば.
264. 野河孝充、日浦昌道、他:「I a 期悪性転化卵巣成熟奇形腫術後に腹壁創部内に再発した紡錘形細胞癌の 1 例」第 48 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会, 2010 年 7 月 8 日-10 日、つくば.
265. 白山裕子、野河孝充、日浦昌道、他:「子宮頸部扁平上皮癌手術症例の長期予後」第 48 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 2010 年 7 月 8 日-10 日、つくば.
266. 寺本典弘、野河孝充、日浦昌道、他:「外陰の類上皮肉腫の 1 例」第 48 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 2010 年 7 月 8 日-10 日、つくば.
267. 松元 隆、日浦昌道、野河孝充、他:「卵巣明細胞腺癌の予後改善のための手がかりの模索」第 43 回日本産科婦人科学会四国連合地方部会学術講演会 2010 年 7 月 17 日、松山.
268. 野河孝充、日浦昌道、他:「I a 期悪性転化卵巣成熟奇形腫術後に腹壁創部内に再発した紡錘形細胞癌の 1 例」第 25 回日本臨床細胞学会中四国連合会総会・学術集会 2010 年 7 月 31 日、8 月 1 日、下関.
269. 香川昭博、野河孝充、日浦昌道、他:シホ・シウム「当院における atypical squamous cells (ASC) 症例の分析」第 25 回日本臨床細胞学会中四国連合会総会・学術集会 2010 年 7 月 31 日、8 月 1 日、下関.
270. 松元 隆、野河孝充、日浦昌道、他:「上皮性卵巣悪性腫瘍における腹腔細胞診による組織型推定に関する検討」第 19 回日本臨床細胞学会愛媛県支部総会ならびに学術集会, 2010 年 8 月 8 日、松山.
271. 白山裕子、日浦昌道、他:腫瘍Ⅲ「子宮頸部腺癌手術症例の治療成績-長期予後について」第 63 回中国四国産科婦人科学会総会ならびに学術講演 2010 年 9 月 18 日-19 日、岡山.
272. Hiura M, Ochiai K, et al. Evaluation of the need for red blood cell transfusion in anemic patients with gynecologic cancer receiving chemotherapy-A Japanese Gynecologic Oncology (JGOG) Study. 13th Biennial Meeting of the International Gynecological Cancer Society (IGCS 2010), Prague, Czech Republic, European Union, October 23-26, 2010.
273. 勝俣範之、吉川裕之、小林裕明、斎藤敏章、日浦昌道、嘉村敏治、他:シホ・シウム「子宮頸がんの予防, 診断, そして治療: Cure and Care Bulky I/II 期子宮頸がんに対する術前化学両方の評価; JGOG0102 の成績について, 第 48 回日本癌治療学会学術集会 2010 年 10 月 28 日-30 日、京都.
274. 松元 隆、野河孝充、日浦昌道、他:「子宮頸部病変における高リスク HPV DNA 存在様式診断と治療法個別化への応用」第 48 回日本癌治療学会学術集会 2010 年 10 月 28 日-30 日、京都.
275. 白山裕子、野河孝充、日浦昌道、他:「子宮頸癌手術症例の長期予後」第 48 回日本癌治療学会学術集会 2010 年 10 月 28 日-30 日、京都.
276. 山口 聡、日浦昌道、他:「子宮頸がん I b2・II 期を対象とした術前化学療法パクリタキセル+カルボプラチン試験」第 48 回日本癌治療学会学術集会 2010 年 10 月 28 日-30 日、京都.
277. 日浦昌道:シホ・シウム「子宮頸がんヒトパピローマウイルス (Human Papilloma Virus; HPV) -主に HPV ワクチンについて-」第 80 回日本感染症学会西日本地方会学術集会 2010 年 11 月 19 日-20 日、松山.
278. 松元 隆、野河孝充、日浦昌道、他:「頸部細胞診断 ASC-US 症例における高リスク HPV DNA の存在様式と組織診断との関連性」第 49 回日本臨床細胞学会秋期大会 2010 年 11 月 21 日-22 日、神戸.
279. 野河孝充、日浦昌道、他:「筋腫子宮全摘 6 年後に卵巣・骨・肺転移し、平滑筋肉腫を診断された 1 例」第 49 回日本

- 臨床細胞学会秋期大会 2010 年 11 月 21 日-22 日、神戸.
280. 松元 隆、野河孝充、日浦昌道、他:「腹腔細胞診による上皮性卵巣悪性腫瘍における組織型推定に関する検討」第 50 回愛媛県産婦人科医会学術集談会 2010 年 12 月 11 日、松山.
  281. 野河孝充、日浦昌道、他:「婦人科癌の術後放射線照射野内再発に対する骨盤除臓術の経験」第 33 回日本産婦人科手術学会 2011 年 2 月 12 日-13 日、岡山.
  282. 上津孝太郎、日浦昌道、他:「骨盤内腫瘍の 1 例」第 12 回愛媛骨盤内臓器画像診断研究会 2011 年 2 月 17 日、松山.
  283. 白山裕子、野河孝充、日浦昌道、他:「円錐切除術後の頸管狭窄に対するピグテール型ポリウレタンチューブを用いた保存的治療」第 12 回愛媛県産婦人科手術研究会 2011 年 2 月 19 日、松山.
  284. 山口 聡、野河孝充、他:「婦人科がん治療の標準クリニカルパスの作成」第 64 回日本産科婦人科学会. 2012 年 4 月 13 日-15 日、神戸.
  285. Matsumoto M, Hiura M, Nogawa T, et al. Overexpression of E2F transcription factor 1 in epithelium of uterine cervix results in development of squamous cell carcinoma in transgenic mice. 64th Annual Congress of the Japan Society of Obstetrics and Gynecology. April 13-15, 2012, Kobe.
  286. 松岡直樹、野河孝充、他:「カルボプラチンに過敏反応症例に対するシスプラチン投与の安全性と治療効果」第 53 回愛媛県産婦人科医会学術集談会. 2012 年 5 月 26 日、松山.
  287. 大亀真一、野河孝充、日浦昌道、他:「子宮体癌の再発における腹腔細胞診の意義について」第 53 回日本臨床細胞学会総会 (春期大会) 2012 年 6 月 1 日-3 日、千葉.
  288. 松元 隆、野河孝充、日浦昌道、他:「記述式内膜細胞診報告様式における異型増殖症以上を除外できない内膜異型細胞の検証」第 53 回日本臨床細胞学会総会 (春期大会). 2012 年 6 月 1 日-3 日、千葉.
  289. 小島淳美、野河孝充、日浦昌道、他:「子宮頸部「胃型腺癌」の細胞診判定: 四国がんセンターの現状」第 53 回日本臨床細胞学会総会 (春期大会). 2012 年 6 月 1 日-3 日、千葉.
  290. 松岡直樹、野河孝充、他:「カルボプラチン過敏反応症例に対するシスプラチン投与の安全性と治療効果の検討」第 45 回四国産科婦人科学会学術講演会. 2012 年 7 月 14 日、高知.
  291. 横山 隆、野河孝充、日浦昌道、他:「腹腔外病変を伴う進行子宮体癌の治療成績」第 52 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 2012 年 7 月 19 日-21 日、東京.
  292. 白山裕子、野河孝充、日浦昌道、他:「卵巣明細胞腺癌に対する化学療法 of 検討」第 52 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会, 2012 年 7 月 19 日-21 日、東京.
  293. 松岡直樹、野河孝充、他:「内膜細胞診が有用であったタモキシフェン服用後の子宮内膜ポリープに発生した Endometrial intraepithelial carcinoma (EIC) の 1 例」第 27 回日本臨床細胞学会中国四国連合会総会・学術集会. 2012 年 7 月 28-29 日、出雲.
  294. 橋本久美、野河孝充、他:シボゾウム 2 「子宮頸がんの早期発見手段の把握とがん登録」第 27 回日本臨床細胞学会中国四国連合会総会・学術集会. 2012 年 7 月 28 日-29 日、出雲.
  295. 野河孝充: 特別講演「子宮体癌の増加-見逃さないための検査法について」今治越智産婦人科医会, 2012 年 8 月 22 日、今治.
  296. 松岡直樹、野河孝充、他:「子宮頸部上皮内癌に対するレーザー蒸散術手技の改善および円錐切除術との再発率比較」第 65 回中国四国産科婦人科学会総会ならびに学術講演会. 2012 年 9 月 22 日-23 日、出雲.

297. 松岡直樹、野河孝充、他：「子宮頸部上皮内癌に対するレーザー蒸散術手技の改善」第35回日本産婦人科手術学会。2012年9月29-30日、京都。
298. 松元 隆、野河孝充、日浦昌道、他：「CIN1 フォローアップにおける高リスク HPV in situ hybridization および p16 染色の意義」第50回日本癌治療学会学術集会, 2012年10月25日-27日、横浜。
299. 松岡直樹、野河孝充、他：「カルボプラチン過敏反応症例に対するシスプラチン投与の安全性と治療効果について」第50回日本癌治療学会学術集会。2012年10月25日-27日、横浜。
300. 白山裕子、野河孝充、日浦昌道、他：『「記述式子宮内膜細胞診報告様式」における「内膜異型細胞 (ATEC)」の妥当性の検証』第51回日本臨床細胞学会秋期大会 2012年11月9日-10日、新潟。
301. 小島淳美、野河孝充、他：「集団検診で発見され、完全切除および神経温存が可能となった子宮温存が可能となった子宮頸部胃型腺癌の一例」第51回日本臨床細胞学会秋期大会。2012年11月9日-10日、新潟。
302. 大亀真一、野河孝充、他：「卵巣明細胞腺癌 I 期における治療方針の検討」第66回国立病院総合医学会, 2012年11月16日-17日、神戸。
303. 野河孝充、他：「カルボプラチン過敏反応発症後のシスプラチン投与の有用性の検討」第66回国立病院総合医学会 2012年11月16日-17日、神戸。
304. 野河孝充：難治性婦人科悪性疾患に対する治療 悪性黒色腫。第53回日本婦人科腫瘍学会学術講演会。2012年11月23日-24日、岡山。
305. 友野勝幸、野河孝充、他：「液状処理細胞診導入後に集団検診で発見された子宮頸部“胃型”粘液性腺癌の一例」第54回愛媛産婦人科医会学術集談会。2012年12月22日、松山。
306. 大亀真一、野河孝充、他：「早期卵巣癌における術後治療の検討」第54回愛媛産婦人科医会学術集談会。2012年12月22日、松山。
307. 小林裕明：公募研究報告：難治性再発卵巣がんに対するがん休眠状態を目指したテーラード化学療法の基礎的臨床的研究：第49回日本婦人科腫瘍学会学術講演会、平成22年12月4日 佐賀市
308. 小林裕明：ワークショップ 2：「当科における腹式子宮頸部摘出術の適格条件と疾病予後について」第49回日本婦人科腫瘍学会学術講演会、平成22年12月4日、佐賀市
309. 小林裕明。公募研究助成報告「難治性再発卵巣がんに対するがん休眠状態を目指したテーラード化学療法の基礎的臨床的研究」第49回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 2010年12月4日-5日。佐賀。
310. 小林裕明。特別講演：Metronomic chemotherapy 理論に基づくがん休眠療法と維持化学療法：第24回関越DIF研究会、2011年2月19日。京都。
311. 八木裕史、小林裕明、他：「癌の浸潤、転移における CXCR4/G $\alpha$ 13/Rho シグナル経路の役割」第64回日本産科婦人科学会学術講演会、2012年4月13日-15日、神戸市。
312. Kaneki E, Kobayashi H, et al. Incidence of postmolar gestational trophoblastic disease in androgenetic moles and the morphological features associated with low risk postmolar gestational trophoblastic disease: International Federation of Placenta Associations (IFPA), Hiroshima, Japan, 18-21 September 2012.
313. Yamamoto K. Antitumor activity of new combination chemotherapy with irinotecan hydrochloride (CPT-11) and nedaplatin (254-S) against human cervical cancer cell lines, The 3rd International Conference on Drug Discovery and Therapy, 7-10, Feb., 2011, UAE.
314. Yamamoto K. The clinicopathological